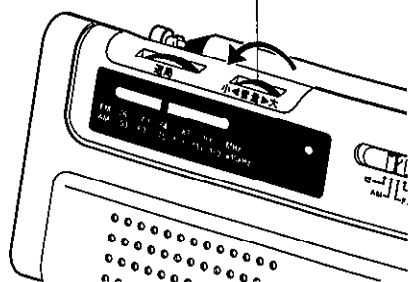
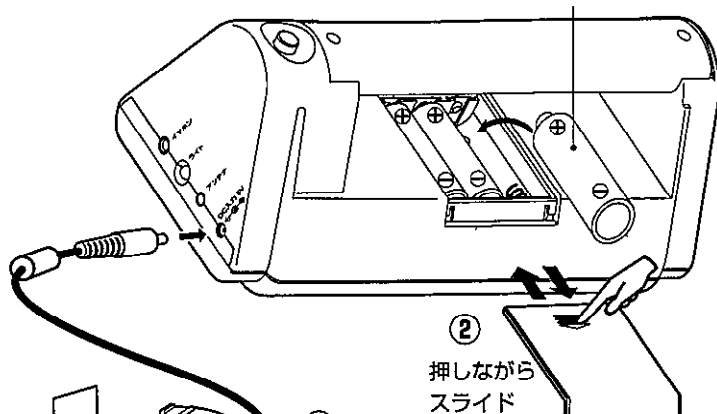


① 音量ダイヤル



② 単3形アルカリ乾電池



③ AC電源アダプタ

家庭用電源
AC100V
コンセント

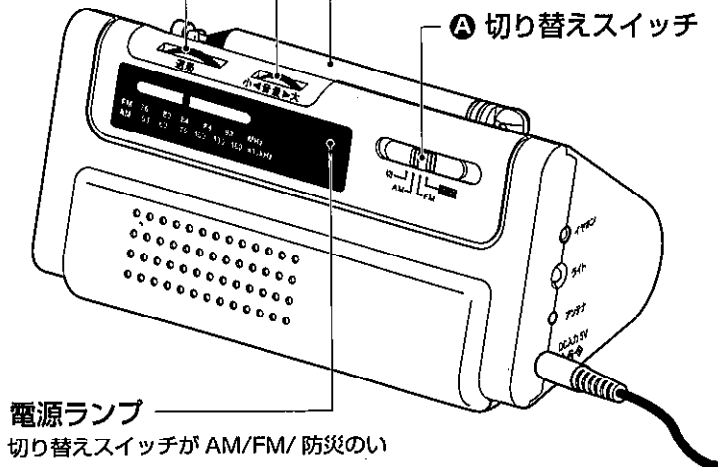
本製品を電池のみで使用する、短い時間で消耗し、そのまま放置すると液もれの原因となりますので、通常はAC電源アダプタを使用し、電池は災害時にご使用ください。

④ 選局ダイヤル

⑤ 音量ダイヤル 小さく 大きく

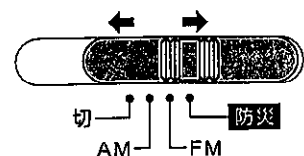
⑥ ロッドアンテナ

⑦ 切り替えスイッチ



電源ランプ

切り替えスイッチが AM/FM/ 防災のいずれかの位置にあるとき点灯



⑦ 切り替えスイッチ部

1. 電源を入れる

① 音量を小さくします。

電池またはAC電源アダプタをセットしたときに急に大きな音が鳴り出すことがあります。

② 電池を入れます。

電池ぶたを押しながらスライドして電池ぶたを取り外し、電池ホルダーの⊕⊖表示に電池を合わせて入れます。

電池ぶたをスライドさせて取り付けます。

- 電池は指定の新しい電池をご使用ください。
- 電池のみで使用したとき、電池が消耗すると音が小さくなったり、ひすんだりします。



注意

電池を1年以上入れたままにすると液もれが発生することがあります。1年に1回定期的に電池を交換してください。

③ AC電源アダプタを接続します。

付属のAC電源アダプタをコンセントに接続し、プラグをラジオのDC入力端子に接続します。



注意

必ず付属のAC電源アダプタをご使用ください。他のAC電源アダプタを使用した場合、故障や火災などの原因になることがあります。

- AC電源アダプタから電力が供給されると、電池が入っていても自動的に電源が切り替わります。

2. AMまたはFM放送を聞く

FM放送は、⑥ロッドアンテナを垂直に伸ばしてください。

「アンテナの取り扱い方」をお読みください。

① ⑦切り替えスイッチをAMまたはFM位置に合わせます。

② ④選局ダイヤルを回して、聞きたい放送局を選択します。

③ 必要に応じて⑤音量ダイヤルを回して、音量を調節します。

- 防災行政ラジオを受信すると、AMまたはFM放送を聞いている最中でも、防災行政ラジオに切り替わります。

3. 防災行政ラジオにする

防災行政ラジオを受信するとラジオから自動的に流れるようにすることができます。

① ⑥ロッドアンテナを垂直に伸ばします。

「アンテナの取り扱い方」をお読みください。

② 音量を事前に調節しておきます。(⑤音量ダイヤル)

防災行政ラジオは一定以上の音量で鳴るようになっていますが、音量ダイヤルで調節してください。

③ ⑦切り替えスイッチを「防災」位置にします。

- お使いの環境によっては、受信がしにくいことがあります。なるべく窓際などでお使いください。
- 防災行政ラジオが発信されていないときに、他の電波の影響により、雑音(ノイズ)が入ることがあります。

重要

通常は、AC電源アダプタをご使用ください。

災害に備えて、予備の電池を準備しておきましょう。

4. 電源を切る

Ⓐ切り替えスイッチを「切」位置にします。

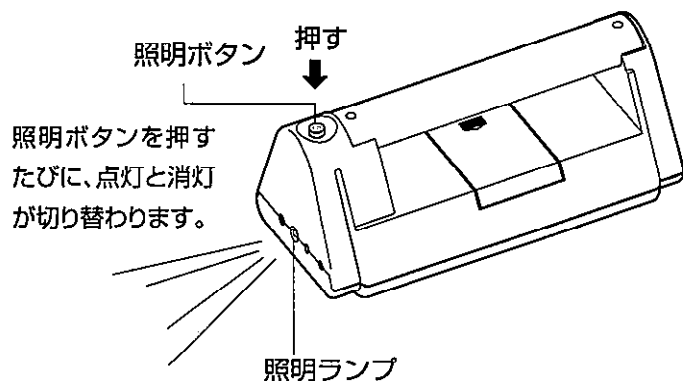
長期間使用しない場合は、電池を取り出し、AC電源アダプタをコンセントから抜いてください。

イヤホンで聞くには

φ3.5mmモノラルミニジャック仕様のイヤホンをイヤホン端子に接続してください。接続するとスピーカーからは音が出なくなります。

照明の使い方

照明ボタンを押すと照明ランプが点灯します。

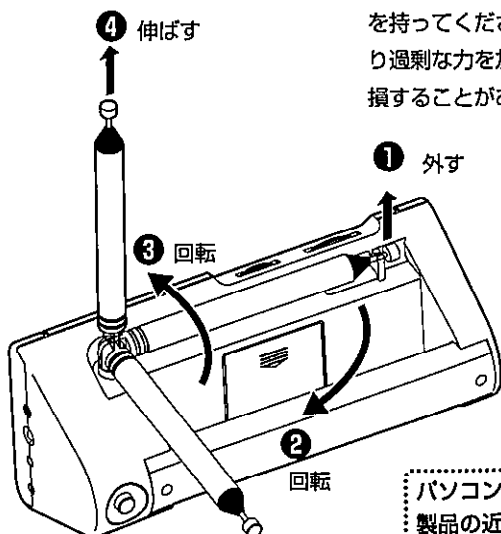


！ アンテナの取り扱い方

AMラジオの場合、内部にあるバーアンテナによって受信します。ラジオ本体を受信状態のよい方向に向けてください。

ロッドアンテナをご使用になるときは①～④の順番に従って、垂直に伸ばしてください。

アンテナを動かすときは、付け根付近を持ってください。先端部分を持ちたり過剰な力を加えると、アンテナが破損することがあります。



パソコン、テレビなどの家電製品の近くでは電波の受信がしにくくなります。離れたところで使用ください。

主な仕様

受信周波数	FM 76MHz～90MHz AM 526～1605KHz
スピーカー	直径 5cm 丸型8Ω 1個
出力端子	イヤホン端子 (φ3.5mmミニジャック) 1個
入力端子	外部アンテナ端子 (φ3.5mmミニジャック) 1個 外部電源入力端子 DC5V 200mA
電源	単3形アルカリ乾電池 (JIS規格 LR6) 3本 AC電源アダプタ 5V 200mA
電源ランプ	緑LED
照明ランプ	白色LED
本体寸法	高さ 87×幅200×奥行き96 (mm)

乾電池持続時間 (機能を単独で使用した場合の参考値)

ラジオ	約30時間 (音量 中位)
防災行政ラジオ (待機)	約130時間
照明ランプ	約100時間

AC電源アダプタ使用時の電気代 (防災行政ラジオ待機状態)
約22円/月 (2005年12月での試算)

付属品

AC(100V)電源アダプタ 1個 単3形アルカリ乾電池 3本

取扱説明書/保証書 この説明書です。

- 防滴機構になっていませんので、雨や雪、水しぶきがかかる場所では十分ご注意ください。
- 付属の電池は、工場出荷時に入れていますので、電池の持続時間が仕様より短い場合があります。
- 製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

故障かな？と思ったら

修理・お問合せの前に、もう一度次のことをご確認ください。

問 電源が入らない

- ACアダプタをコンセントおよびラジオ本体にしっかり差し込む。
- 電池を使用している場合は、新しい電池を正しい向きに入れる。

問 音が出ない

- イヤホンを端子から抜く。
- 外部アンテナを誤ってイヤホン端子に差し込まれていないか確認。

問 雑音が入る

- 家電製品やOA機器、携帯電話などのノイズが影響していると考えられます。これらの機器から離して使用してください。
- 大出力の無線機を積んだ車輛が通過したときなど防災行政ラジオに雑音が入る場合があります。

問 ラジオがうまく受信できない

- FM放送・・・ロッドアンテナを垂直に伸ばしてください。
- AM放送・・・本機の向きを変えてください。

問 防災行政ラジオが受信できない

- 送信所からの距離や地形、建物の構造などにより電波の強さが変わります。同じ部屋の中でも、場所によって変わる場合がありますので、設置位置を変えてみてください。
- 電池では受信できるのにACアダプタを使用すると受信できないことがあります。これは電波が弱い場合に、ACアダプタおよびACコードの影響によるロッドアンテナの同調のずれや、ACコードからのノイズの影響などが原因と考えられます。他のACコードと絡まないようにしてコンセントを変えると改善されることがあります。改善されない場合、外部アンテナの利用をお勧めします。

ご使用前にお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

■表示の説明について

表示内容を無視して、誤った使い方をした時に生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。



この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



この表示は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。(表示の一例です。)



この表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

誤飲による事故防止について



小さな部品や小形の電池は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

アルカリ乾電池について



●電池からもれた液が眼に入った場合は、失明するおそれがありますのですぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けてください。また、皮膚や衣服に付着した場合は、水で洗い流してください。

●ショート、分解、加熱、火に入れるなどしないでください。液もれ、発熱、破裂の原因になります。

電池について



電池の使い方を間違えると、発熱、破裂の危険や液もれにより人体や本体周囲を傷めることがあります。

- + (プラス)、- (マイナス) を逆に入れないでください。
- 指定された新しい電池を使用してください。
- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池の混用をしないでください。
- 使い切った電池は速やかに取り出してください。
- 長期間使用しない場合は、電池を取り出してください。
- 電池交換時は、電池ホルダー端子 (接触部) の汚れを落としてから入れてください。



分解したり改造しないでください。故障の原因になります。



落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。



注意 電源アダプタについて



プラグを持つ

コンセントから電源アダプターを抜くときは、コードを持たずに、必ず電源アダプター本体を持って引き抜いてください。電源コードを持って引っ張るとコードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



プラグを抜く

長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜いてください。感電や火災、故障の原因になることがあります。



禁止

たこ足配線をしないでください。異常発熱や火災の原因になることがあります。



ほこりを取る

電源アダプターの電極およびコンセントの差し込み口にほこりが付着しているときには、乾いた布でよく拭きとってください。そのまま使用すると火災の原因になります。



使用禁止

電源アダプターおよび電源ケーブルが傷んだときは使用を中止してください。そのまま使用すると感電や火災の原因になります。



プラグを抜く

ラジオや電源アダプターから発熱・煙・異臭などがするときには直ちに電源アダプターをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると感電・火災の原因になります。



禁止

濡れた手で電源アダプターを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

使用場所について



禁止



下記のような場所では使わないでください。

ケースや部品および電池などの品質が低下し、受信不良や電池の寿命が短くなる原因になります。

- 温度が+50℃ (50度) 以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所、暖房器具等の熱風や火気に近い所、車の中など。
- 温度が-10℃ (氷点下10度) 以下になる所。(プラスチックの部品や電池の劣化が起きることがあります。)
- 湿気が多い浴室など。
- ほこりが多いところ。
- テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。磁場の影響で、ノイズが入ったり、受信できなくなります。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。(霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。)
- 軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

お手入れについて

- 汚れがひどい時は、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。